

# 試験報告書

依頼者 ジャパンメディカルリンク株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 KING POWER(弱酸性次亜塩素酸水溶液)

表 題 消臭効果試験

COPY

2016 年(平成 28 年)10 月 21 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## 消臭効果試験

## 1 依頼者

ジャパンメディカルリンク株式会社

## 2 検 体

KING POWER (弱酸性次亜塩素酸水溶液)

## 3 試験概要

検体及び対照(水)についてアンモニア、トリメチルアミン、メチルメルカプタン及び硫化水素の消臭効果をガス検知管法により試験した。

## 4 試験結果

試験結果を表-1~4及び図-1~4に示した。

表-1 アンモニアの試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	22	12	9	7	6
対照(水)	36	28	24	23	22
空試験	100	97	93	89	83

初期ガス濃度 : 約100 ppm

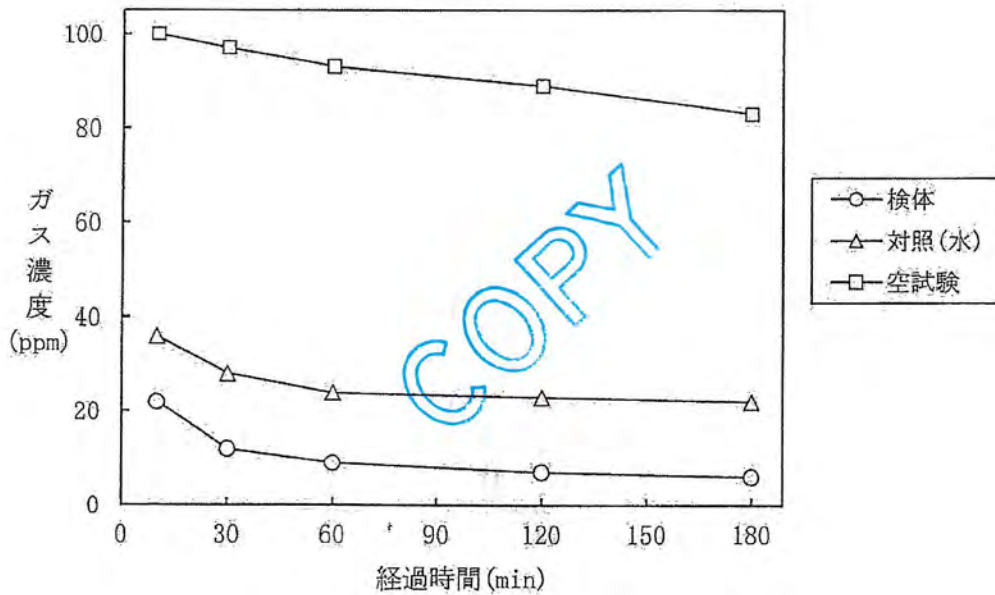


図-1 アンモニアの試験結果

表-2 トリメチルアミンの試験結果

(単位 : ppm)

試料区分	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	26	25	20	17	14
対照(水)	50	48	44	43	42
空試験	70	70	70	70	70

初期ガス濃度 : 約70 ppm

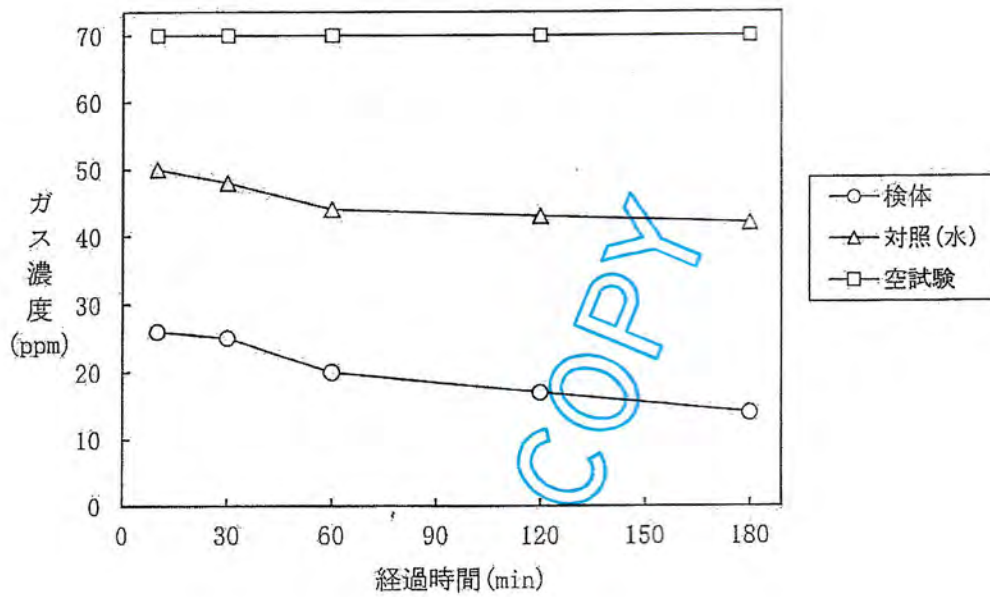


図-2 トリメチルアミンの試験結果

表-3 メチルメルカプタンの試験結果  
 (単位: ppm)

試料区分	経過時間 (min)	
	10	30
検体	1.3	<0.1
対照(水)	8.0	8.0
空試験	8.0	8.0

初期ガス濃度: 約8.0 ppm

&lt;0.1: 定量下限(0.1 ppm)未満

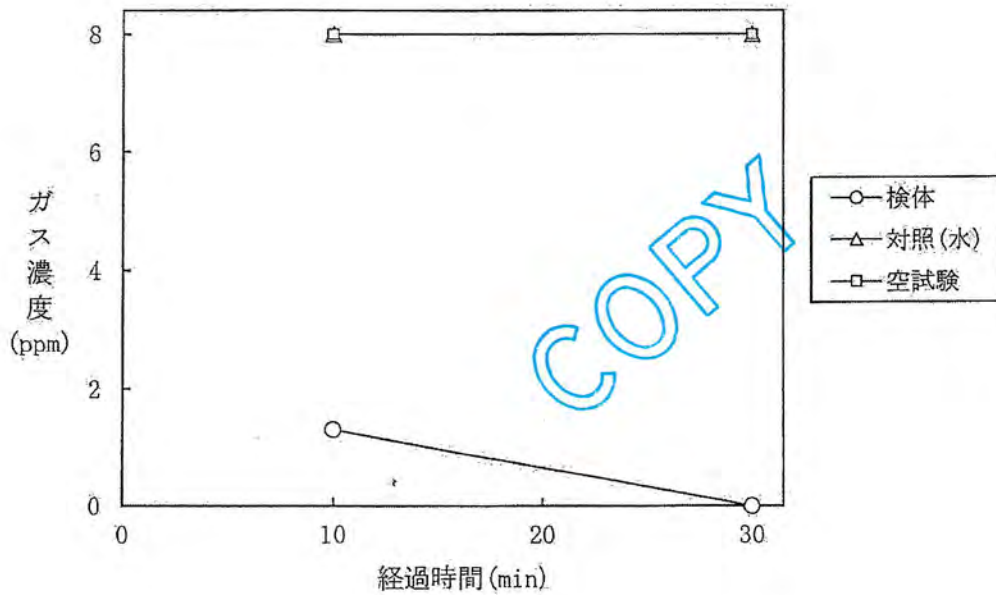


図-3 メチルメルカプタンの試験結果

表-4 硫化水素の試験結果

(単位：ppm)

試料区分	経過時間 (min)				
	10	30	60	120	180
検体	14	10	7	6	6
対照(水)	20	20	20	20	20
空試験	20	20	20	20	20

初期ガス濃度：約20 ppm

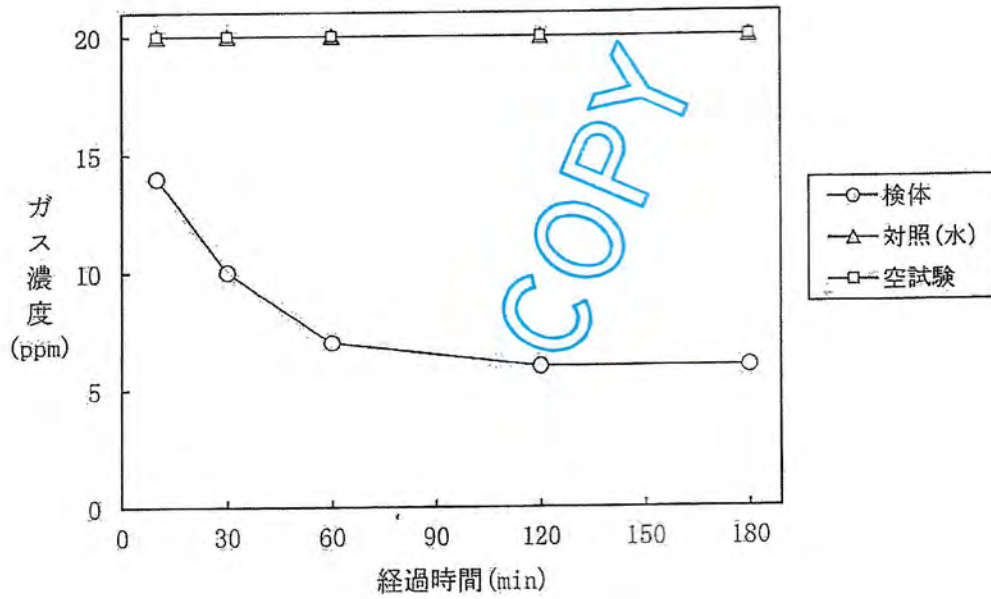


図-4 硫化水素の試験結果

**5 試験方法**
**1) 試薬及び器具**

におい袋 (25 cm×40 cm) [アラム株式会社]

におい袋 (25 cm×40 cm) [ジーエルサイエンス株式会社]

アンモニア：アンモニア水 (28 %，特級) [小宗化学薬品株式会社] から発生させたガスを用いた。

トリメチルアミン：トリメチルアミン水溶液 (28 %) [東京化成工業株式会社] から発生させたガスを用いた。

メチルメルカプタン：メチルメルカプタンナトリウム溶液 (15 %) [小宗化学薬品株式会社] に希硫酸を加えて発生させたガスを用いた。

硫化水素：硫化鉄(II) (硫化水素発生用) [小宗化学薬品株式会社] に希硫酸を加えて発生させたガスを用いた。

ガス検知管 [株式会社 ガステック]

**2) 操作**

検体及び対照 (水) をそれぞれにおい袋に入れ、ヒートシールを施した後、空気 3 L を封入し、設定したガス濃度となるように試験対象ガスを添加した。これを静置し、経過時間ごとに袋内のガス濃度をガス検知管を用いて測定した。また、検体及び対照 (水) を入れずに同様な操作をしたものを空試験とした。

試験条件を表-5に示した。

表-5 試験条件

検体使用量	検 体：5 mL 対照 (水)：5 mL
試験対象ガス (初期ガス濃度)	アンモニア (約100 ppm) トリメチルアミン (約70 ppm) メチルメルカプタン (約8.0 ppm) 硫化水素 (約20 ppm)
温度条件	室温
測定時間	10, 30, 60, 120及び180分 (ただし、測定値が定量下限未満になった時点で終了)

以 上